

市民が主役

瑞穂市の まちづくり!!

牛牧閘門は、
条例の前文に謳
われている、昔
から水害と戦っ
てきた先人たち
のたゆまぬ努力
の象徴です！



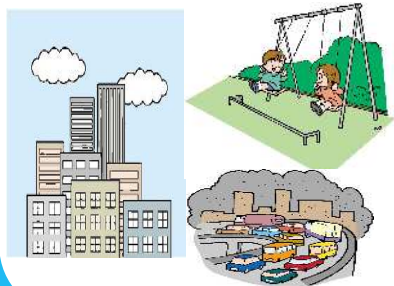
うしきこうもん
牛牧閘門（下畑）

長良川の支流、五六川の流末に五六閘門または牛牧閘門と呼ばれる樋門（水門）があります。この水門は、長良川からの逆流による水害から地域を守るため、1907（明治40）年に造られたものです。

（1749（寛延2年）年、本田代官となった川崎平右衛門の尽力で、この地に初めて木材で水門が造られました。その後、1907年までに4～5回建て替えられ、1907年に「人造石」工法で永久的な水門となりました。）

●「まちづくり」ってなんだろう？

建物・道路・公園などを
整備する『まちづくり』



暮らしを支える
これらすべてを
より良くすることが
『まちづくり』
なんです！



文化・伝統・人と人のつながりなどを
活性化する『まちづくり』



平成24年4月1日施行

瑞穂市まちづくり基本条例

そし『まちづくり』には、
例えばこんなものが
身近にあるんです。

そ



選挙で、市長や議員
を選ぶ



市役所のアンケート
に答えたり、講座に
参加する



資源回収やごみゼロ
運動に参加する



通学路で、地域の
子どもたちを見守る



市広報を読んだり、
市ホームページを見る



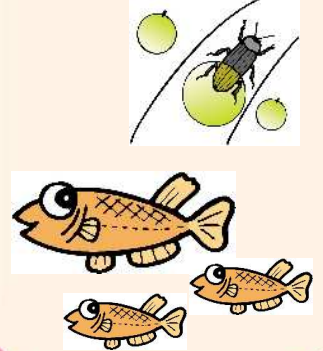
自治会活動に
参加する



地域で支え合う活動
を行う



自然を守る活動に
参加する



●「どうしてまちづくり基本条例が必要」なんだろう？

地域のことは地域で考える時代です。

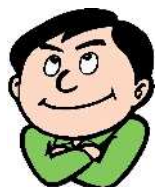
地方分権が進み、これからのまちづくりは、地域のことは地域で考え、地域で決めなければなりません。そのための**基本的な考え方やルール**が必要です。

少子高齢化の進展と住民意識の変化

少子高齢化が進むなか、まちづくりに対する住民ニーズが多様化・高度化し、これからのまちづくりでは、市民やコミュニティなどが主体的に関わるのが、これまで以上に求められるようになりました。そのための**基本的な考え方やルール**が必要です。



この基本的な考え方や
ルールが、まちづくり
基本条例なんです！



●「これからの瑞穂市のまちづくり」は？



市民憲章の理念によっています！

前文

- ❁ 文化やスポーツに親しみ、地域との絆を大切に、互いを思いやり、健康で明るく、多様な価値を認め、自由に住みよいまちづくり
- ❁ 市民一人ひとりが主役のまちづくり
- ❁ 基本的人権を尊重し、将来に魅力がある誰もが住みたくなるまちを目指した、市民参画による協働のまちづくり



まちづくりは市民が主権者なんです！



第1条

目的

- ❁ 市民・市議会・市役所（市の執行機関）の役割を明確にして、市民が主体の市民参画による協働のまちづくりを進めます。

第4条

基本理念

- ❁ 市民と市議会と市の執行機関が協働してまちづくりを進めます。
- ❁ 市民の人権が尊重され、市民の個性等が発揮されるまちづくりを進めます。
- ❁ 市民の自主性と自立性が担保され、男女共同参画が保障されるまちづくりを進めます。

重要ポイント

情報の共有

市議会と市の執行機関が積極的に情報提供を行い、市民と情報を共有してまちづくりに取り組みます。

第6条

第11条

まちづくりについて言いたくても、動かしたくても、「情報」がなければ何もできません。まずは知ることから始めましょう！

参画

地域の実情にあった市政運営を行うため、自治の主体である市民の市政への参画を進めます。

第15条

まちづくりに参加・参画しましょう。できるとき、できる範囲で。みんなの参画で、まちはもっと住みよくなります！

協働

それぞれの役割と責任を理解し、対等の立場で、互いの特性を生かして協力する「協働」のまちづくりを進めます。

第18条

まちづくりは、みんながバラバラにやるのではなく、市民・市議会・市役所が「協働」することでより大きな力が生まれます！

●「市民と市議会・市役所の役割」って何だろう？

まちづくりは、住民だけでなく自治会やNPO、企業など、いろいろな人たちの力を合わせることが必要なんです。だから、瑞穂市への通勤・通学者のほか、瑞穂市に何らかの関わりがある団体も「市民」に含めています。

市民と市議会・市役所がそれぞれの役割を認識して、市民と市との情報の共有、市民による地域の自治活動や市政へ参画、市と市民または市民相互の協働によるまちづくりを進めます。



第5条

市民

- ◆市内に居住する人
- ◆市内で就業する人
- ◆市内に就学する人
- ◆市内で事業・活動を行う個人、法人、その他団体

- 市政の情報を知る権利
- 市政に参画する権利
(自らの意思と責任において、まちづくりに参画)
- 地域の自治を推進する活動への参加・協力



選挙によって選ばれた議員さんで構成されています！

市長・市職員その他、教育委員会や選挙管理委員会などの各種委員会も含まれるんです！

情報共有
参画
協働

第6条

市議会

- 行政活動を調査、監視
- 開かれた議会運営
- 市民の意思を市政に適切に反映



第7条

第8条

市役所

(執行機関)

- 公正かつ誠実な市政運営
- 市政運営に関する説明
- 市民と協働のまちづくり
- 職員自ら自己研鑽



●「条例には何が書いてあるの」？

第9条

コミュニティ活動

地域の課題は、地域のことをもっともよく知る市民自らが考え、それぞれ助け合いながら解決していくことが大切です。

第10条

行政手続

市民の権利と利益を守るため、行政手続（処分、行政指導および届出など）を公正に行います。

第12条

情報の公開

市民の知る権利を保障し、市政に関する情報の公開を進めます。

第13条

個人情報の保護

情報を積極的に提供しますが、個人情報は厳重に管理し、適正に取り扱います。

第14条

説明及び応答の責任

市政の状況や課題を市民に分かりやすく説明し、市民の意見や質問には速やかに誠意を持って対応します。

第16条

参画の方法

事案に応じて、できるだけ多くの市民が参画できる環境を整えます。
（審議会等委員、公聴会・懇談会等、ワークショップ、パブリックコメント等）

第17条

計画の策定等への参画

市政運営の指針となる基本構想と各施策の基本となる計画を策定する場合は、可能な限り市民の参画する機会を保障します。

第19条

国及び他の地方公共団体との連携

市単独では解決が困難な事案であっても、近隣の他のまちや国、県などと連携、協力してまちづくりを進めます。

第20条

住民投票

市政に関する重要事項について、必要に応じ、住民投票が実施できます。実施に当たっては、事案ごとに投票に必要なことを定めます。

第21条

まちづくり基本条例推進委員会

この条例の見直しや協働のまちづくりの取り組みについて審議及び評価、提案をします。

第22条

雑則

この条例の施行に関し必要な事項は、市議会及び市の執行機関が別に定めます。



●皆さんの身近なことから始めましょう！

●これからのまちづくりは、みんなで協力して頑張ることが必要です！

✿そのための、みんなで共有する基本的なルールが『まちづくり基本条例』です！

どうぞ、ヨロシク
お願いします！

瑞穂市まちづくり基本条例

(前文)

わたしたちのまち瑞穂市は、西に揖斐川、東に長川を有し、大小の河川が南北に流れる、豊かな水と緑の美しいまちとして誕生しました。この地は輪中地帯で、過去に幾度となく水害に見舞われました。しかし、先人のたゆまぬ努力により、肥沃で、豊かな農地を生み、住みよいまちとして発展を遂げてきました。古くは、中山道の宿場町として栄え、その面影を訪ねることができます。

今では、鉄道がまちの中央を走り、当市から名古屋市まで30分足らずの交通至便なまちです。また、国道21号が東西に、南北には主要地方道北方多度線が縦貫する岐阜県西部の交通要衝の地です。わたしたち瑞穂市民は、文化やスポーツに親しみ、地域との絆を大切に、互いを思いやり、健康で明るく、多様な価値を認め、自由で住みよいまちづくりを進めています。

瑞穂市民一人ひとりが、まちづくりの主役です。わたしたちは、基本的人権を尊重し、将来に魅力がある誰もが住みたくなるまちを目指し、市民参画による協働のまちづくりを進めるため、この条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、本市におけるまちづくりについて、その基本理念を明らかにするとともに、市民、市議会及び市長をはじめとする市の執行機関のそれぞれの役割を明確にし、市民が主体の市民参画による協働のまちづくりを推進することを目的とします。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによります。

- (1) まちづくり 市民生活に係る様々な分野において、わたしたちの暮らす地域等をより良いものとするための取り組みをいいます。
- (2) 市民 市内に居住し、通学し、又は通勤する個人及び市内において事業又は活動を行う個人、法人その他団体をいいます。
- (3) 市の執行機関 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいいます。
- (4) 参画 市民が、まちづくりの方針及び企画の立案から実施を経て評価に至るまでの過程に、責任をもって主体的に参加し、かつ、行動することをいいます。
- (5) 協働 地域又は社会の課題の解決を図るため、市民が相互に、又は市民、市議会及び市の執行機関がともに、お互いの立場を尊重し、かつ、

信頼し、協力して取り組むことをいいます。

(条例の位置付け等)

第3条 この条例は、本市のまちづくりの基本となる基本理念を定めるものです。

2 本市における他の条例、規則等の制定改廃、地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想及び個別行政分野の基本計画の策定その他の市政の運営に当たっては、この条例との整合を図るものとします。

第2章 まちづくりの基本理念

第4条 本市における市民が主権者であるまちづくりは、次に掲げる事項を基本理念とします。

- (1) 市民、市議会及び市の執行機関の協働によること。
- (2) 市民一人ひとりの人権が尊重され、かつ、その個性及び能力が十分に発揮されること。
- (3) 市民の自主的かつ自立的な参画及び男女共同参画が保障されること。

第3章 市民の権利及び責務

第5条 市民は、自らの意思と責任において、広くまちづくりに参画します。また、事業を営む市民にあっては、住環境に配慮し、地域社会との調和を図り、安心して住めるまちづくりに寄与するよう努めます。

- 2 市民は、まちづくりに関し、自らの意見を表明し、及び提案する権利を有するとともに、必要な情報を知ることができます。
- 3 市民は、まちづくりに参画するに当たり、相互に多様な価値観を認め合い、自らの発言と行動に責任を持ち、まちづくりに努めます。
- 4 市民は、まちづくりの主体であることを認識し、居住する地域の自治組織に加入し、及び協力しながら活動するよう努めます。

第4章 市議会及び市の執行機関の責務

(市議会の責務)

第6条 市議会は、市政の議決機関として、市民の意思を代表し、かつ、この条例の目的に沿ったまちづくりの実現に寄与します。

- 2 市議会は、保有する情報を積極的に市民に公開し、かつ、議会活動に関する情報を分かりやすく提供し、市民に開かれた議会運営に努めます。
- 3 市議会は、市民の信託を受けた市民の代表であることを認識し、広く市民から意見を求めるよう努めるものとします。

(市長の責務)

第7条 市長は、市政運営の最高責任者として市民の信託に基づき、この条例の基本理念を実現するため、公正かつ誠実に市政を運営します。

- 2 市長は、毎年度、市政運営の方針を明らかにするとともに、その達成状況を市民及び市議会に説明します。

(市の執行機関及び職員の責務)

第8条 市長を除く市の執行機関は、その権限と責任において、公正かつ誠実な執行及び運営を行い、協働によるまちづくりを推進します。

2 市の執行機関の組織は、市民に分かりやすく簡素で機能的なものであるとともに、市の執行機関の職員（以下「職員」という。）は、常に横断的な連携を図り、総合行政の推進に努めます。

3 職員は、自らも市民の一員であることを自覚し、市民と連携し、まちづくりを推進するため、常に自己研鑽（さん）に努めるものとします。

第5章 コミュニティ活動

第9条 市民は、安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会を実現するため、自治会等の地域のコミュニティに対する理解を深め、自主的な意思によってまちづくりに取り組み、お互いに助け合い、地域の課題を共有し、解決に向けて自ら行動するよう努めます。

2 市議会及び市の執行機関は、前項に規定する市民の自主的な地域における活動の役割を尊重するとともに支援します。

第6章 市政の運営

（行政手続）

第10条 市の執行機関は、市政の運営における公正の確保及び透明性の向上を図り、市民の権利利益を保護するため、別に定める条例により、適切な処分、行政指導及び届出に関する手続を行います。

（情報の共有）

第11条 市の執行機関は、まちづくりに関する情報が、市民共有の財産であることから、これを市民に分かりやすく提供するよう努めます。

（情報の公開）

第12条 市議会及び市の執行機関は、市民の知る権利を保障し、公正で透明性の高い市政の実現を図るため、別に定める条例により、情報の公開を総合的に推進します。

（個人情報の保護）

第13条 市議会及び市の執行機関は、市民の権利利益を保護するため、別に定める条例により、市の保有する個人情報を適正に取り扱います。

（説明及び応答の責任）

第14条 市の執行機関は、市民に対し市政に関する事項を説明する責務を果たさなければなりません。

2 市の執行機関は、市政に関する市民の意見、提言等を尊重し、迅速に状況を把握するとともに、これを行政運営に反映するよう努めます。

第7章 参画及び協働

（参画）

第15条 市の執行機関は、市政の運営に当たっては、市民の意見が市政に反映できるよう、参画する機会を保障します。

2 市の執行機関は、市民が参画すること又は参画

できないことによって不利益を受けることのないよう配慮します。

（参画の方法）

第16条 市の執行機関は、前条第1項に規定する参画する機会を保障するため、事案に応じて次に掲げるいずれかの方法を用います。

（1）審議会等への委員としての参画

（2）公聴会、懇談会等への参画

（3）ワークショップその他の一定の課題について集団で検討作業を行うことへの参画

（4）パブリックコメント（意思決定過程で素案を公表し、市民から出された意見又は情報を考慮して決定する制度をいう。）その他の意見の聴取

（5）アンケート調査等による意見の聴取

（6）その他の市長が別に定める市民参画手続

2 市長は、参画の方法及び聴取した意見等の取扱いを決定したときは、これを公表します。

（計画の策定等への参画）

第17条 市の執行機関は、地域における総合かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想及び個別行政分野の基本計画の策定等を行うに当たっては、前条第1項各号に掲げる方法を用いて、市民がそれらに参画する機会を保障します。

（協働）

第18条 市民、市議会及び市の執行機関は、公共の担い手として協働に努め、まちづくりを進めます。

2 市議会及び市の執行機関は、前項の協働に努めるに当たり、市民の自主性を尊重します。

3 市の執行機関は、市民にまちづくりに関する意識の啓発を行うとともに、まちづくりに必要な人材の育成を図るよう努めます。

第8章 国及び他の地方公共団体との連携

第19条 市の執行機関は、まちづくりに関し、共通する課題を解決するため、国及び関係する他の地方公共団体との連携及び協力を図ります。

第9章 住民投票

第20条 市長は、市政に関する重要事項について、広く市民の意思を確認するため、必要に応じて住民投票を実施することができます。

2 市民、市議会及び市の執行機関は、住民投票で得た結果を尊重します。

3 住民投票を行う場合は、その事案ごとに、投票に付すべき事項、投票資格者、投票の期日、投票の方法、投票結果の公表等を規定した条例を別に定めるものとします。

第10章 まちづくり基本条例推進委員会

第21条 まちづくり基本条例推進委員会（以下「推進委員会」という。）は、市長の諮問に応じ、協働によるまちづくりの推進に関する重要事項について審議し、市長に答申するものとします。

2 市長は、この条例の見直しに当たっては、推進委員会に諮問するものとします。

3 推進委員会は、市長から諮問される事項のほか、

協働のまちづくりの取り組みについて審議及び評価を行い、見直しが必要な場合においては、市長に提案するものとします。

- 4 前3項に規定するもののほか、推進委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定めます。

第11章 雑則

- 第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、市議会及び市の執行機関が別に定めます。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

かきりん



瑞穂市は「富有柿」の発祥の地です。
そこで柿をモチーフとして、未来を見つめる笑顔いっぱいの子どもをイメージしてキャラクター化したのが「かきりん」です。

瑞穂市民憲章

わたしたちは 揖斐 長良の清流とともに生き
長い歴史と文化に誇りを持ち 自由に住みよいまちづくりに
力を合わせていくことを ここに誓います

1 豊かな水と緑あふれる 美しいまちをつくります

1 健康で心がかよう 明るいまちをつくります

1 文化が香りスポーツに親しむ さわやかなまちをつくります

1 助けあい支えあう 優しいまちをつくります

1 夢をはぐくみ希望に満ちた 幸せなまちをつくります

平成20年9月5日制定

【表紙の絵】

杉山くに子さん（牛牧在住）から、寄贈いただきました。

【お問合せ先】

瑞穂市企画部 企画財政課

〒501-0293 瑞穂市別府1288番地

Te l. 058-327-4128 (ダイヤルイン)

Fax. 058-327-4103

E-mail. kikaku@city.mizuho.lg.jp